
「傍大動脈リンパ節オリゴ転移に対する体幹部定位放射線治療の遡及的研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2017年1月1日から2023年12月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターで傍大動脈リンパ節転移に対する放射線治療を受けられた患者さんを対象とします。

2. 研究の目的

オリゴ転移（遠隔転移病巣が3～5個以下の小数個）の症例に対して転移病巣への局所治療を行うことにより長期生存、場合によっては根治に至ることができるといわれるようになってきています。その中で種々の原発腫瘍の傍大動脈リンパ節転移に対しては全身化学療法が一般的であり、根治が狙える治療はなされていませんでした。しかし、近年は根治を目的とした局所治療が行われるようになってきており、放射線治療では体幹部定位放射線治療も行われています。その治療成績や安全性に言及した報告は散見されていますが、一定の見解は得られていないのが現状です。

そこでこの研究では、傍大動脈リンパ節オリゴ転移に対して体幹部定位放射線治療を行うことにより局所制御が得られるか、またそれはどのような症例で生存期間の延長に寄与するのか、3次元原体照射と比較して安全に治療を行えているかを探ることを目的とします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2024年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

IRB承認日から1か月後

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究では取得済みの電子カルテ情報（病状や治療内容、その効果など）や画像情報、また

画像情報をもとに立案された放射線治療情報(DICOM-RT ファイル)を対象にしており匿名化を施した上でこれらの情報を用います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である飯野美咲が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

電子カルテの診療記録、画像サーバーや放射線治療計画装置から保存されている情報を取得します。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科 飯野 美咲(研究責任者)

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯俊昭

お問い合わせについて

ご自身の診療情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科 飯野 美咲(担当者氏名)

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4136(土日祝日を除く 8:30~17:30)

○研究課題名：傍大動脈リンパ節オリゴ転移に対する体幹部定位放射線治療の遡及的研究

○研究責任(代表)者：埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科 飯野 美咲